

大磯の賢人 吉田 茂

二・二六事件

昭和初期、陸軍では皇道派と統制派の派閥抗争が激化していました。昭和9年にはクーデターを企てたとして皇道派の青年将校らが逮捕された十一月事件(士官学校事件)が起き、翌年には陸軍内の対立を解消すべく、林銑十郎陸相が皇道派中心の人事を推進していた真崎甚三郎教育総監を罷免します。これに対し、皇道派は統帥権干犯と非難、また、背景に統制派の中心人物・永田鉄山軍務局長が暗躍していると囁かれました。この人事は皇道派を刺激する結果となり、直後に陸軍省内で皇道派の相沢三郎中佐が執務中の永田を殺害するという前代未聞の事件(相沢事件)が起きます。この事件が導火線となり、日本近代最大のクーデター、二・二六事件が勃発したのです。

昭和11年2月26日未明、皇道派青年将校らが兵を率い、岡田啓介首相、斎藤實内大臣、高橋是清蔵相、鈴木貫太郎侍従長、渡辺錠太郎教育総監、そして吉田の岳父である牧野伸顕前内大臣を襲撃しました。岡田首相は義弟の松尾伝蔵陸軍大佐が身代わりとなり助かりましたが、鈴木侍従長は重傷、斎藤内大臣・高橋蔵相・渡辺教育総監は殺害されました。

事件当時、牧野は静養先の湯河原の旅館に滞在しており、吉田の娘・和子氏もその場に居合わせていました。飛び交う

弾丸の下をかくぐり、牧野は和子氏と共に命からがら脱出に成功します。九死に一生を得た和子氏は「弾がピシッと音をさせて髪の毛をかすっていった感触は、それから先もずっと忘れられないものになりました」(麻生和子『父吉田茂』)と語っています。

事件は29日に終息を迎えますが、事件後、肅軍人事により皇道派は一掃され、統制派が実権を掌握、結果、軍部は政治色を増し、日本を戦争へと導きました。

事件を受け総辞職した岡田内閣の後継首班に近衛文麿が指名されましたが、近衛が辞退すると、広田弘毅の名前が挙がりました。元老・西園寺公望の秘書・原田熊雄は近衛に広田の内意を確かめるよう伝え、近衛は広田への説得を吉田に依頼します。広田は吉田の外務省の同期で、斎藤・岡田両内閣の外相を務めたエリートです。なかなか首を縦に振らない広田でしたが、吉田の懸命な説得に心動かされ、遂には承諾、そして昭和11年3月5日、広田に組閣の大命が下りました。

▲戒厳令下の警備
(写真/『国際写真情報』第15巻第4号所収 国立国会図書館ウェブサイトより転載)



◎問い合わせ 郷土資料館 学芸員 曾根田 ☎(61) 4700

旧吉田茂邸再建基金 寄附者一覧⑭

(7件:8月11日~9月14日)

9月14日現在、総額45,399,937円の寄附をいただきました。ご協力ありがとうございました。

(寄附受付順、敬称略)

氏名(名称)	住所(所在地)	寄附金額
三上 励	大磯町	¥20,000
藤森 則昭	横浜市	¥10,000
植田 光子	長崎県長崎市	¥13,000
匿名	※※※※※	¥50,000
安田 健次郎	東京都渋谷区	¥20,000
大磯ファミリーグラウンド ゴルフファイナル大会 参加者有志	大磯町	¥3,000
匿名	大磯町	¥30,000

※上記のほか、2名の方から60,000円のご寄附をいただいております。

◎問い合わせ 都市計画課 ☎内線 243

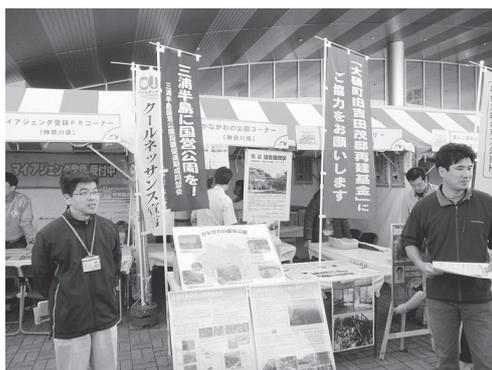
東名高速海老名SAで『旧吉田茂邸再建基金』をアピール!



9月25日(土)・26日(日)の2日間、東名高速道路海老名サービスエリア(下り)で開催された「ゴーイングハイウェイ2010」において、基金のPR活動を行いました。

当日は、チラシの配布やパネルの展示などを行いました。日本一有名とも言われるサービスエリアには、県内はもとより県外からの来場者も多く見られました。

町では、町外で実施されるイベント等にも積極的に参加し、旧吉田茂邸再建基金をアピールしていきます。



▲基金のPR活動を行う職員

◎問い合わせ 都市計画課 ☎内線 221